

2017年9月1日

各位

株式会社 三井住友フィナンシャルグループ

米国シリコンバレー・StartXとのパートナーシップ契約の締結について

株式会社三井住友フィナンシャルグループ（執行役社長グループ CEO：國部 毅、以下、SMFG）は、米国・スタンフォード大学が設立した非営利団体 StartX（創業者：Cameron Teitelman・Nicolas Kokkalis、CEO: Joseph Huang）と、金融サービスにおける新技術等の活用を目的としたパートナーシップ契約を締結しました。

StartXは2009年にスタンフォード大学生が立ち上げたボランティア団体から始まり、その後、2012年に米国・カウフマン財団（世界最大規模の起業家支援財団）やシリコンバレーを中心とした企業からサポートを受け、起業家支援の活動をしています。StartXの特徴の1つとして、支援先のエクイティ取得を支援要件としないことが挙げられ、よりオープンで裾野の広い起業家支援を行っています。

SMFGはStartXのパートナーシッププログラムに参画し、数多くのイノベーションの起点となってきたスタンフォード大学発の起業家・スタートアップにアクセスすることで、最先端の技術等の早期取り込みをはかります。

SMFGは2017年4月に設立したSMFGシリコンバレー・デジタルイノベーションラボを中心に、米国西海岸地域における研究開発ネットワークを拡充し、新たな金融関連サービスの創出に一層取り組んでまいります。

以上

（ご参考） StartXの概要

名称： StartX

設立： 2009年

所在地： 2627 Hanover Street, Palo Alto, California 94304, USA

概要： スタンフォード大学発の起業家・スタートアップを支援する非営利団体。